



2020年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年12月5日

上場会社名 株式会社アルチザネットワークス 上場取引所 東
 コード番号 6778 URL https://www.artiza.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 床次 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 清水 政人 TEL 042-529-3494
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年12月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第1四半期の連結業績（2019年8月1日～2019年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第1四半期	329	27.1	△179	—	△203	—	△146	—
2019年7月期第1四半期	259	△53.4	△285	—	△282	—	△207	—

(注) 包括利益 2020年7月期第1四半期 △112百万円 (—%) 2019年7月期第1四半期 △228百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第1四半期	△18.14	—
2019年7月期第1四半期	△25.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第1四半期	4,952	3,205	64.7	397.19
2019年7月期	5,047	3,318	65.7	411.12

(参考) 自己資本 2020年7月期第1四半期 3,205百万円 2019年7月期 3,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年7月期	—	—	—	—	—
2020年7月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	14.0	250	236.0	225	238.8	150	27.5	18.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期1Q	9,562,000株	2019年7月期	9,562,000株
② 期末自己株式数	2020年7月期1Q	1,491,070株	2019年7月期	1,491,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期1Q	8,070,930株	2019年7月期1Q	8,071,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。従いまして、本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願い致します。また、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。なお、業績予想に関する事項は3ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

移動体通信分野では、世界的に多種多様なモバイル端末の普及により、移動体通信の高速化・大容量化、サービス品質の向上に向けての研究開発及び設備投資が継続しております。国内においてはLTE-Advancedのサービスが普及し、既存のLTEのサービスに対して更なる高速化・大容量化が実現しております。また、LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proの開発を継続しつつ、第5世代(5G)通信方式の商用化へ向けた実証実験も開始されております。海外におきましても、LTE-Advancedサービスに加え、先行的な5Gサービスも一部で始まり、更なる移動体通信の高速化が全世界で進行しております。

また、固定通信分野におきましては、企業向け及び家庭向け光ファイバの普及によるブロードバンドサービスが定着し、NetflixやAmazonプライム・ビデオ等のビデオストリーミングを中心としたデータトラフィックが急速に増加しております。通信事業者は、急増する多種多様な通信トラフィックに柔軟に対応するため、ネットワークの負荷低減に向けた投資や、ネットワーク処理のソフトウェア化を急速に進めながら、通信インフラの更なる高速化・大容量化を推進しております。

これらの技術や新サービスの導入に伴い、設備投資や開発投資の需要が見込まれる一方で、通信事業者間の加入者獲得競争による、サービスの低価格傾向は定着しており、通信業界全体の投資意欲に関しましては、引き続き選別的な姿勢が継続されるものと予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、以下の営業、マーケティング及び研究開発活動を行いました。

- (i) 5Gに対応する製品の開発及び販売
- (ii) LTE-Advanced及びLTE-Advanced Proに対応する製品の開発及び販売
- (iii) 欧州、中国、北米、韓国、中東等の海外市場における5G及びLTE-Advanced対応製品の販売及び市場開拓
- (iv) LTEに対応する製品の保守及び販売
- (v) 次世代ネットワーク及びネットワークセキュリティに対応した製品開発・商材開拓及び販売
- (vi) 通信分野における新事業に向けたマーケティング

その結果、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

(モバイルネットワークソリューション) 110,299千円(前年同期比39.6%減)

当セグメントの売上高は、110,299千円となりました。移動体通信市場におきましては、第5世代(5G)通信方式の商用化へ向けた実証実験が行われ、国内大手通信事業者は、2020年の東京オリンピックを前に、本格的な5G商用サービスを開始する予定であります。そのような環境において、前第3四半期より当社における「5G」初のフラッグシップ製品となる「DuoSIM-5G」の販売を開始いたしました。当第1四半期におきましては5G関連の売上は少額に留まりました。なお、第2四半期以降の5G関連製品拡販に向け、当期におきましても5G関連の積極的な研究開発を行っております。LTE-Advanced及びLTE-Advanced Pro向けテストソリューションの国内及び海外向け販売も前年同期比で減少いたしました結果、前年同期比で減収となりました。

セグメント損益につきましては、219,320千円の営業損失(前年同期は営業損失243,111千円)となりました。前年同期に対し売上高は減少いたしました。5G向けの研究開発費及び販売管理費が前年同期比で減少したことによるものです。

(IPネットワークソリューション) 219,606千円(前年同期比184.8%増)

当セグメントの売上高は、219,606千円となりました。ネットワーク監視用パケットキャプチャツール「etherExtractor」の販売が前年同期比で大幅に増加した結果によるものです。

セグメント損益につきましては、前年同期比で売上高が大幅に増加したことに加え、研究開発費が大幅に減少した結果、39,563千円の営業利益(前年同期は営業損失42,832千円)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高329,905千円(前年同期比27.1%増)、営業損失179,757千円(前年同期は営業損失285,943千円)、経常損失203,338千円(前年同期は経常損失282,992千円)となりました。当連結会計年度の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産計上に伴う法人税等調整額を57,907千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は146,431千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失207,862千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,665,185千円であり、前連結会計年度末に比べ132,716千円減少いたしました。現金及び預金が665,438千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が915,413千円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は1,287,272千円であり、前連結会計年度末に比べ37,339千円増加いたしました。投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が64,733千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,378,766千円であり、前連結会計年度末に比べ37,545千円増加いたしました。未払法人税等が75,978千円減少した一方で、短期借入金100,000千円増加したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は367,975千円であり、前連結会計年度末に比べ20,485千円減少いたしました。長期借入金が20,520千円減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,205,716千円であり、前連結会計年度末に比べ112,436千円減少いたしました。利益剰余金が146,431千円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は予定通り推移しており、2019年9月5日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,947,516	2,612,955
受取手形及び売掛金	1,191,112	275,699
有価証券	144,475	88,150
商品及び製品	384,345	439,406
仕掛品	15,029	54,302
原材料及び貯蔵品	102,523	167,716
その他	12,899	26,956
流動資産合計	3,797,902	3,665,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	218,355	215,353
工具、器具及び備品(純額)	317,224	285,364
土地	16,794	16,794
有形固定資産合計	552,374	517,513
無形固定資産	96,112	90,685
投資その他の資産		
投資有価証券	334,290	346,820
その他	267,155	332,253
投資その他の資産合計	601,445	679,073
固定資産合計	1,249,932	1,287,272
資産合計	5,047,835	4,952,458
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,903	216,204
短期借入金	800,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	82,080	82,080
未払法人税等	80,149	4,170
賞与引当金	35,160	75,118
その他	190,927	101,193
流動負債合計	1,341,220	1,378,766
固定負債		
長期借入金	376,240	355,720
資産除去債務	12,221	12,255
固定負債合計	388,461	367,975
負債合計	1,729,682	1,746,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,359,350	1,359,350
資本剰余金	1,503,745	1,503,745
利益剰余金	1,081,403	934,971
自己株式	△505,593	△505,593
株主資本合計	3,438,904	3,292,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△126,492	△90,638
為替換算調整勘定	5,740	3,881
その他の包括利益累計額合計	△120,752	△86,756
純資産合計	3,318,152	3,205,716
負債純資産合計	5,047,835	4,952,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)
売上高	259,572	329,905
売上原価	103,568	170,596
売上総利益	156,003	159,308
販売費及び一般管理費	441,947	339,066
営業損失(△)	△285,943	△179,757
営業外収益		
受取利息及び配当金	646	558
為替差益	2,663	—
その他	8	10
営業外収益合計	3,319	569
営業外費用		
支払利息	352	1,470
有価証券償還損	—	15,291
為替差損	—	7,353
その他	16	36
営業外費用合計	368	24,151
経常損失(△)	△282,992	△203,338
税金等調整前四半期純損失(△)	△282,992	△203,338
法人税、住民税及び事業税	800	1,000
法人税等調整額	△75,930	△57,907
法人税等合計	△75,130	△56,907
四半期純損失(△)	△207,862	△146,431
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△207,862	△146,431

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2018年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2019年10月31日)
四半期純損失(△)	△207,862	△146,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,332	35,854
為替換算調整勘定	△589	△1,859
その他の包括利益合計	△20,922	33,995
四半期包括利益	△228,784	△112,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△228,784	△112,436
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年8月1日至2018年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	182,464	77,107	259,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	182,464	77,107	259,572
セグメント損失(△)	△243,111	△42,832	△285,943

(注)セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2019年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額(注)
	モバイル ネットワーク ソリューション	IP ネットワーク ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	110,299	219,606	329,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	110,299	219,606	329,905
セグメント利益又は損失(△)	△219,320	39,563	△179,757

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。